

2022年6月10日

調査・研修報告書（議員用）

報告者：松本 みのり

実施場所：ワークピア広島（広島市南区金屋町1-17）

実施日：2022年6月6日

■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）

*議員定数・報酬を考える特別委員会の設置を前に、特に議員定数について参考となる情報を得るために、勉強会に参加し、意見交流を行う。

■参考とすべき事項

*一番の学びのメインテーマであった定数についての話がほとんどなく、「このことについては個々に考えて結論を出して下さい。」とのことだったので、その部分はとても残念であった。

*政務活動費については、届け出や計算などの間違いを無くすために、使って認定された分だけを振り込む方式もあることを教えて頂き、一考の価値があると思われた。

*報酬については、税引き前の額面が高すぎると見られがちだが、日々、自腹での活動が多く、厚生年金や雇用保険、退職金、その他の手当や保障はないこと、4年に1度は多額の選挙資金が必要となり、失職と隣り合わせであることも勘案されたい。

*政務活動費を遠慮して使わない人もいるが、生かして使い、議員活動を活発化させることで市民に還元するべき。

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

*政務活動費は、定額支給ではなく、実費精算、事後精算とした方がミスによるリスクを減らせるため、今後の検討事項に入れたい。

*政務活動費を十分に生かして、掘り下げた調査・研究を行い、より市民のためになる政策を生むことを意識して、日々の活動に励むことが重要である。

*議員同士で連携しながら、政策に役立つ研修を企画していくことも、より良い市政のためには必要。

*定数については、それぞれの議会によって事情が異なるため、正解はない。定数について考え始めた一番の目的は、議会の活性化であるので、「どうしたら議会を活性化できるか？」を中心に据えて議論を行っていききたい。

*定数特別委員会を、議会活性化を図る糸口としたい。